

# 「富県宮城の実現」に向けたこれまでの主な取組と成果

参考1

(平成22年12月末現在)

## 1 育成・誘致による県内製造業の集積促進

項目	取組	成果
企業立地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企業立地促進法に基づく地域産業活性化計画策定(対象市町村, 同意期日) [自動車関連]みやぎ自動車関連産業集積形成基本計画(7市6町1村, H19.7月) [高度電子機械]みやぎ高度電子機械産業集積形成基本計画(7市9町1村, 同上) [食品製造業等]宮城県北部地域食品関連産業等活性化基本計画(6市6町, H21.2月) 宮城県南部地域食品関連産業等活性化基本計画(7市12町1村, 同上)</li> <li>○「企業立地促進奨励金制度」(H20.4月から交付限度額10億円を40億円に拡充=みやぎ発展税)の活用</li> <li>○「企業立地促進税制」の導入(H20.4月)</li> <li>○「名古屋産業立地センター」の設置・運営(H20.11月～)</li> <li>○企業立地セミナーの開催(東京, 大阪, 名古屋で延べ1,355社 2,064人の参加)</li> <li>○市町村に対する支援 ・「企業立地促進法関連産業集積促進事業」 工場立地基盤整備事業貸付: 貸付金H20年度 栗原市, H21年度 亶理町</li> <li>○「情報通信関連企業立地促進奨励金制度」(H18.4月～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主な立地件数: 累計156件(H18～H22年上期)…東北経済産業局工場立地動向調査</li> <li>○立地面積: 累計331ha(H18～H22年上期)…同上 ※立地面積: H20, H21年…全国2位, H22年上期…全国3位</li> <li>○主な立地協定・覚書締結(期日/対象面積/立地市町村) ・東京エレクトロン(株)(H19.3月/29.1ha/大和町)⇒H23.4月操業予定</li> <li>・セントラル自動車(株)(H20.2月/44ha/大衡村)⇒H23.1月操業</li> <li>・プライムアースEVエナジー(株)(H20.7月/25ha/大和町)⇒H22.1月操業</li> <li>・ソマール(株)(H20.7月/7.6ha/大和町)</li> <li>・アイシン高丘(株)(H20.11月/10.5ha/大衡村)</li> <li>・山田水産(株)(H21.1月/0.9ha/石巻市)⇒H21.7月操業</li> <li>・トヨタ紡織東北(株)(H21.8月/5.2ha/大衡村)(旧: 株関東シート製作所)⇒H23.1月操業</li> <li>・太平洋工業(株)(H21.12月/8.9ha/栗原市)⇒H22.7月操業</li> <li>・フジパングループ本社(株)(H22.4月/3.7ha/岩沼市)</li> <li>・(株)ジャムコ(H22.10月/5.9ha/名取市)</li> <li>○進出企業による地元雇用創出 ・セントラル自動車(株), プライムアースEVエナジー(株), トヨタ自動車東北(株)等で採用決定</li> <li>○コールセンター等立地件数: 累計10件(H18.4月～)</li> </ul>
地元企業取引拡大支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基盤技術力向上・先端技術実用化支援 ・「宮城県基盤技術高度化支援センター(KCみやぎ)」創設 ワンストップ技術相談に対応(H20.1月～)</li> <li>○産業支援機関の施設整備充実</li> <li>【重点産業分野の振興・自動車関連】 ○「自動車関連産業特別支援事業(プロジェクトJ)」実施(H18.4月～)</li> <li>○「みやぎ自動車産業振興協議会」設立(H18.5月)及び運営(442会員) ①進出企業等とのマッチング支援(展示商談会開催等) ②地元企業の技術力向上に向けたレベルアップ支援(技術研修会, 専門人材派遣等) ③自動車関連産業への新規参入支援(セミナーの開催等)</li> <li>【重点産業分野の振興・高度電子機械】 ○「みやぎ高度電子機械産業振興協議会」設立(H20.11月)及び運営(303会員) ・4研究会設置: 「半導体・太陽電池製造装置」, 「医療・健康機器」, 「エネルギーデバイス」, 「航空機」</li> <li>【重点産業分野の振興・食品製造業】 ○食品製造業振興プロジェクトの実施(H19～) ・県食料産業クラスター全体協議会(産学官連携組織)による支援 ・県産農林水産物を活用した「売れる商品づくり」から「販路拡大」への支援</li> <li>○各圏域の県地方振興事務所(地域事務所)主体の取組 ・「企業訪問強化プロジェクト(企業訪問GoGoプラン)」実施(H22.4月～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域企業からの技術相談件数: 953件(H18～22年9月末現在)</li> <li>・宮城県産業技術総合センターに大型連続式放電プラズマ焼結装置(SPS)(H21.3月), 車載電子機器用EMC試験設備(H22.1月)設置</li> <li>・宮城県水産技術総合センターに電子スモーク等の最新加工機器設置(H20.11月)</li> <li>○進出関連企業と地元企業との取引開始 ・岩機ダイカスト工業(株)がトヨタ自動車東北(株)から部品生産受注(H20.2月)</li> <li>・東北電子工業(株)がプライムアースEVエナジー(株)宮城工場向けの部品生産受注(H21.1月)</li> <li>・引地精工(株)がプライムアースEVエナジー(株)から宮城工場の生産設備設計・製作受注(H21.12月)</li> <li>①マッチング支援: 商談成立: 累計98件(H18年度～)</li> <li>②レベルアップ支援: 機能構造研修: 累計45社参加(H19.5月～)</li> <li>③参入支援: セミナー延べ8回開催(H18年度～)</li> <li>○ビジネスマッチング: 技術内覧会等32回開催, 延べ482社参加, 商談成立22社(H20.11月～)</li> <li>○市場セミナー: 2回開催</li> <li>○展示会への出展支援: 6回</li> <li>・関連商談会(9回開催)における商談件数: 延べ7,712件(延べ850事業者参加)</li> <li>・商談会における成約件数: 延べ565件</li> <li>・訪問件数: 2,240件(H19年度～H21年度), 1,275件(H22.11月末現在)</li> </ul>

## 2 観光資源, 知的資源を活用した商業・サービス産業の強化

項目	取組	成果
商業・サービス産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報通信関連産業の振興 ・「みやぎe-ブランド確立支援事業」による商品開発・販促支援(H18.4月～)</li> <li>・「派遣OJT支援事業」による市場獲得支援(H19.4月～)</li> <li>○まちづくりと連携した地域商業の振興 ・中心市街地商業活性化支援 ・商店街振興(商店街にぎわいづくり戦略事業)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発・販促支援: 25社32プラン(H18.4月～)</li> <li>・派遣支援人数: 33人(H19.4月～)</li> <li>・中心市街地活性化協議会設立: 気仙沼市, 石巻市, 名取市, 利府町</li> <li>・中心市街地活性化基本計画認定: 石巻市(H22.3月) 事前協議中: 気仙沼市</li> <li>・登米市(佐沼大通り商店街協同組合)ほか10件の活性化事業支援</li> </ul>
観光振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「みやぎ観光戦略プラン」策定(H18.12月)</li> <li>○仙台・宮城デスティネーションキャンペーン(DC)の実施 ・キャンペーンキャラクター「むすび丸」決定(H19.3月)</li> <li>・H19年度「仙台・宮城DCプレキャンペーン」開催(H19.10～12月)</li> <li>・H20年度「仙台・宮城DC」開催(H20.10～12月)</li> <li>○H21年度「仙台・宮城【伊達な旅】キャンペーン」開催(H21.10～12月)</li> <li>○H22年度「仙台・宮城【伊達な旅】キャンペーン」開催(H22.10～12月)</li> <li>○観光施設等の整備 ・県内全域及び3公園(松島公園, 栗駒国定公園, 蔵王国定公園)の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○H21年の成果 ・観光客入込数 6,125万人(過去10年間で最大)</li> <li>・宿泊観光客数 787万人(過去10年間では, H19が最大, H20が2番目)</li> <li>○H20DC期間(10～12月)の成果 ・観光客入込数 1,584万人(過去10年間で2番目)</li> <li>・宿泊観光客数 213万人(過去10年間で2番目)</li> <li>○H21【伊達な旅】キャンペーン期間(10～12月)の成果 ・観光客入込数 1,587万人(過去10年間で最大)</li> <li>・宿泊観光客数 206万人</li> <li>○H22【伊達な旅】キャンペーン期間(10～12月)の成果[サンプル調査] ・観光客入込数 863万人(前年比102.6%)</li> <li>・宿泊観光客数 62万人(前年比101.4%)</li> <li>・県内全域: 広域観光案内板, ミニ観光案内所誘導看板整備</li> <li>・松島公園(照明灯・防護柵の再整備等), 栗駒国定公園(地獄谷遊歩道再整備等), 蔵王国定公園(蔵王山地域登山道再整備等)</li> </ul>

## 3 地域経済を支える農林水産業の競争力強化

項目	取組	成果
農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業分野の取組 ・マーケットイン型の新たなアグリビジネスに取り組む優れた人材や企業の育成</li> <li>・「みやぎ吟撰米」をはじめとするみやぎ米のブランド確立支援</li> <li>・園芸特産産地の構造改革, 新たな販売戦略の展開</li> <li>・地域農業の生産体制強化に向けた組織化支援</li> <li>・肉用牛改良対策として優良種雄牛の作出を実施</li> <li>・農業生産基盤の整備(農地及び農道の整備)</li> <li>○林業分野の取組 ・みやぎ材利用センターの設立(H18)による優良みやぎ材の供給体制の強化</li> <li>・県産材の利用促進(県産材を使用した住宅建設支援, 合板原料としての活用促進)</li> <li>○水産業分野の取組 ・漁船誘致の取組支援</li> <li>・魚市場の水揚げ機能強化のための魚市場施設整備支援</li> <li>・漁船漁業の構造改革 (漁獲操業から販売に至るまでの総合的な改革を実践するグループ等への支援)</li> <li>・漁業生産基盤の整備(漁港及び漁場の整備)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アグリビジネス経営体数(年間販売額1億円以上) H17年度: 40経営体→H21年度: 71経営体</li> <li>・一等米比率 H17年産: 71.5%→H22.12月末現在: 70.1%</li> <li>・園芸作物産出額 H17年: 328億円→H21年: 329億円</li> <li>・集落営農組織数(H22年産水田経営所得安定対策加入申請集落営農組織): 461組織</li> <li>・県基幹種雄牛選抜実績: 茂洋(H19.3月), 南安平(H20.3), 勝利波(H21.3月)</li> <li>・ほ場整備事業 宮崎北部外92地区 面積3,888ha(H18～21年度)</li> <li>・農道整備事業 仙南2期地区外9地区, 延長7.3km(H18～21年度)</li> <li>・優良みやぎ材の出荷量: H17年度 12,000m<sup>3</sup> → H21年度 19,300m<sup>3</sup></li> <li>・県産材(優良みやぎ材等)を使用した住宅建設支援件数 101件(H21年度)</li> <li>・合板向け素材生産量 H17: 16万m<sup>3</sup> → H21: 18万m<sup>3</sup></li> <li>・漁船誘致活動を支援(気仙沼, 石巻, 塩竈, 女川地区)(H21～H22年度)</li> <li>・自動選別機, 選別ライン等を整備(気仙沼, 石巻, 塩竈地区)(H21年度)</li> <li>・国の構造改革計画認定数(改革を実践するグループ等)5件(H18～22年度(12月末まで))</li> <li>・支援対象経営体数 7経営体(H18～22年度(12月末まで))</li> <li>・漁港整備事業 気仙沼漁港外29漁港(H18～21年度)</li> <li>・漁場整備事業 仙台湾地区 2漁場(H18～21年度)</li> </ul>



4 アジアに開かれた広域経済圏の形成

項目	取組	成果
国際経済	○「みやぎ国際戦略プラン」策定(H18.12月)、第2期プラン策定(H22.3月) ○県内企業の販路拡大支援 ・商談会等開催(上海、大連、香港、台湾、ハバロフスク、ニジェゴロド、モスクワ、ソウル)(H18年度～) ・海外バイヤー招へい実施(香港)(H20年度～) ・海外での食品フェアの開催	・開催回数:延べ31回(参加企業数:延べ227社、商談件数:延べ5,003件)、商談会での成約件数:延べ154件、成約見込件数:延べ1,242件※商談会等当日の企業アンケート結果 ・海外バイヤー招へいによる成約件数:6社 ・開催回数:延べ3回(香港1回、台湾2回)
	○本県企業の海外販路開拓・拡大 ・JETRO事業との共催による米国西海岸への仙台味噌の販路開拓・拡大イベント(H21.8月) ・ニジェゴロド州及びモスクワ市で「宮城セミナー」開催(H21.5月) ○外資系企業の本県進出・活動促進 ・デラウェア州政府等を通じたIT、ナノテク、バイオ、クリーンエネルギー、航空機産業の企業誘致(H20年度～) ・ビジネスジェット運行支援事業者の誘致実現(H22.5月) ・イタリア政府(大使館)、イタリア貿易振興会、仙台市、JETROとの連携によるナノテクセミナー開催(H21.2月) ・ピエモンテ州(イタリア)訪問団の本県訪問、Nanotech2010への参加(H22.2月) ・ピエモンテ州訪問(企業マッチング、日伊ビジネスグループセミナー参加)(H22.10) ・台湾企業のネットワークを通じた企業等の誘致(H19年度～)	・現地レストランとの成約:2件 ・来場者数:ニジェゴロド約100人、モスクワ約200人  ・本県企業との協業契約協議継続案件:2件 ・東北大学との共同研究協議継続案件:2件 ・FBO仙台株式会社が仙台空港内に設立(H22.5月)、開業(H22.8月) ・同セミナーの企業マッチングにより、本県企業2社及び東北大学助教1名がイタリアでのナノテクイベントへ招待 ・東北大学とトリノ工科大学との共同研究締結(H22.2月) ・東北大学とトリノ工科大学との大学間学術交流協定締結(H22.11) ・研究拠点の設立(H19.7月)及び東北大学との共同研究協議継続案件1件
	○海外との交流基盤の強化 ・ロシア連邦ニジェゴロド州知事の本県訪問(H19.4月)、同州への本県訪問団派遣(H21.5月) ・ヨーロッパ・ロシア訪問団の派遣(H22.5月) ・米国デラウェア州への村井知事訪問(H19.4月)、同州への本県訪問団派遣(H21.11月)  ・中国吉林省への本県訪問団派遣(H20.9月) ・中国吉林省訪問団の来県(H22.5月) ・中国吉林省への若生副知事派遣(H22.9月) ・台湾訪問団派遣(H22.9月)	・ニジェゴロド州・県知事間で「協力に関する覚書」締結し、経済交流強化について合意(H19.4月)、「協力の発展に関する共同宣言書」調印(H21.5月) ・ニジェゴロド州・県知事間で「経済協力協定」を締結 ・デラウェア州・県知事間で「協力に関する覚書」締結し、経済交流強化について合意(H19.4月)、同州との「新たな経済交流展開合意書」「覚書」締結(H21.11月) ・吉林省と「第9次交流計画協議書に関する第三期覚書」締結(H20.9月) ・吉林省と「第9次交流計画協議書に関する第四期覚書」締結(H22.5月) ・吉林・北東アジア投資貿易博覧会への参加。吉林省孫書記表敬訪問(H22.9月) ・知事訪台、国際協力協定書の締結(対中華民国工商協進会)(H22.9月)

5 産業競争力の強化に向けた条件整備

項目	取組	成果
人材育成	○「産業人材育成プラットフォーム」設立・運営(H19.6月～) ・産業人材育成プログラムの連携実施に向けた協議・調整、国等の公募競争資金の獲得や実施支援	・国等公募競争資金獲得(工業系高校人材育成、小学校理科授業支援、コンピューター解析研修等)採択数:延べ20件、24事業採択額:約5.9億円(H19～22年度)
	①「みやぎクラフトマン21事業」による工業系高校生の技術力向上(H19.7月～)	・生徒の企業実習受入数 延べ1,217人(H19～H21年度) ・県内高校生の技能検定合格者数(機械加工、機械保全等の2級及び3級試験):延べ948人(H18～22年度前期)
	②「みやぎカーインテリジェント人材育成センター」設立・運営による理工系大学生・高専生、社会人の技術力向上(H19.12月～)	・研修講座数:延べ56講座(H19年度～) ・受講者数:延べ2,200人、修了者数:延べ1,064人(H19年度～) ・自動車関連企業へ就職又は内定人数:25人(H19～21年度受講者のうち)
	③「みやぎ高度電子機械人材育成センター」設立・運営による理工系大学生・高専生及び社会人技術者の技術力向上(H21.6月～)	・研修講座数:34講座(共通分野、専門分野) ・受講者数:延べ429人、学生向けコース修了者数:83人
	○農林水産業分野における人材・後継者の育成 ①農業分野:「農業大学校」改組(H20.7)と実践的な農業教育の場の提供 ②林業分野:森林整備を担う林業従事者の新規就労支援、高度技能者の育成 ③水産業分野:地域漁業を担う人材確保のための体験学習会、研修会の実施	・新規就農者数 H21:97人(年間) ・基幹林業技能作業士数 H21:245人 ・漁業士認定者数 H22:266人、新規就業者数 H21:17人
産業基盤整備	○産業基盤整備 ・「大衡インターチェンジ」及び関連道路整備(H20.4月～)  ・「仙台北部道路」整備(H5年度～) ・「仙台塩釜港港湾整備計画」改訂(H20.12月) ・仙台塩釜港(仙台区)に4機目のガントリークレーン整備着手(H20.3月～)	・「大衡IC」本体工事起工(H21.10月)⇒H22.12月供用開始 ・(主)大衡落合線全線4車線化完成(L=3,185m)(H21.12月) ・利府しらかし台IC～富谷JCT間開通(H22.3月)、仙台都市圏高速環状ネットワーク完成 ・雷神ふ頭、新中野地区モータープール完成(H22.11月) ・ガントリークレーン供用開始(H21.10月)

6 「富県宮城の実現」を支える取組

項目	取組	成果
雇用対策	○基金活用による雇用の創出(～H23年度) ・基金総額154.2億円(県47.9億円、市町村106.3億円) ・基金活用による新規雇用者:目標 11,263人	・基金活用による新規雇用者合計 9,572人(うち、H20年度111人、H21年度4,738人、H22年度見込み4,723人) ※その他、「重点分野雇用創出事業」:840人(H22年度見込み)
	①「緊急雇用創出事業」:目標 9,342人、基金総額94.3億円(県28億円、市町村66.3億円)	①「緊急雇用創出事業」:8,236人(うち、H20年度111人、H21年度4,177人、H22年度見込み3,948人)
	②「ふるさと雇用再生特別基金事業」:目標 1,921人、基金総額59.9億円(県19.9億円、市町村40億円)	②「ふるさと雇用再生特別基金事業」:1,336人(うち、H21年度561人、H22年度見込み775人)
	○「緊急雇用対策訓練」実施(H20年度～) ・高等技術専門学校等で再就職に必要な知識・技能の習得のため訪問介護、OA、ITコース等	・H22年度 全81コース、定員1,680人(うち12月末現在68コース、定員1,420人、入校1,349人) * H21年度 全45コース、定員913人、修了者773人のうち465人就職
	○「緊急新規高卒者就職促進奨励金制度」導入(1人当たり15万円支給、H21.12月～H22.3月) ・支給対象となる県内求人数543人 うち、奨励金支給決定301人(内定315人=県内高校報告人数)	・経営緊急支援資金(雇用創出枠)の創設 新規学卒者等の雇用創出を目的とした資金(取扱期間:H22.11月～H23.3月)
○「みやぎ求職者総合支援センター」設置(H21.6月)及び運営	・生活・就労関連の相談件数:6,242件(H22.4月～10月)	
その他の取組	○「富県宮城推進会議」設置(H19.4月～)及び運営(24団体で構成) ・「富県共創」による各団体の一体的取組促進や意見交換等実施 ・産業界の取組を促進するための「富県創出モデル事業」展開(H20年度～) ・市町村主体の取組促進を図る「富県創出補助事業」の展開(H20年度～) ○「地産地消に取り組む県民運動」推進 ・富県宮城推進会議における宣言文のとりまとめ(H21.3月) ○農商工連携の推進(H20.7月～) ○「みやぎの農商工連携推進」を宣言(H22.6月)	・「『みやぎ発展税』を活用した取組に対する基本的な提案」取りまとめ(H20.3月) ・事業数:延べ7件(人材育成・確保、観光等の各分野) ・補助件数:延べ14件(大崎市、栗原市等)  ・宣言文を約7,800の企業や団体に周知 ○事業認定数:6件((有)パレット:ずんだの新商品開発・販路拡大、奥田建設(株):葉菜ワサビの販路拡大・ブランド化、(株)ダイチ:漢方和牛の販路拡大・ブランド化 他)